



機械受注統計調査報告

Machinery Orders

令和3年10～12月見通し

Forecast for Oct. - Dec. 2021



令和3年11月

November 2021

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics

Economic and Social Research Institute

Cabinet Office, Government of Japan

(調 査 の 概 要)

機械受注見通し調査は、機械製造業者の受注する設備用機械について、四半期ごとに翌期の受注見通し等を調査したものである。調査対象は「機械受注実績調査」の対象となっている主要な機械製造業者、また調査時点は毎四半期末であり、今回調査の見通し時点はおおむね2021（令和3）年9月下旬と推定される。

1987（昭和62）年7～9月見通し調査より、調査対象社数を178社から280社に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月より、機種分類の「電子・通信機械」に含まれていた「携帯電話」を調査対象から外した。

(使 用 上 の 注 意)

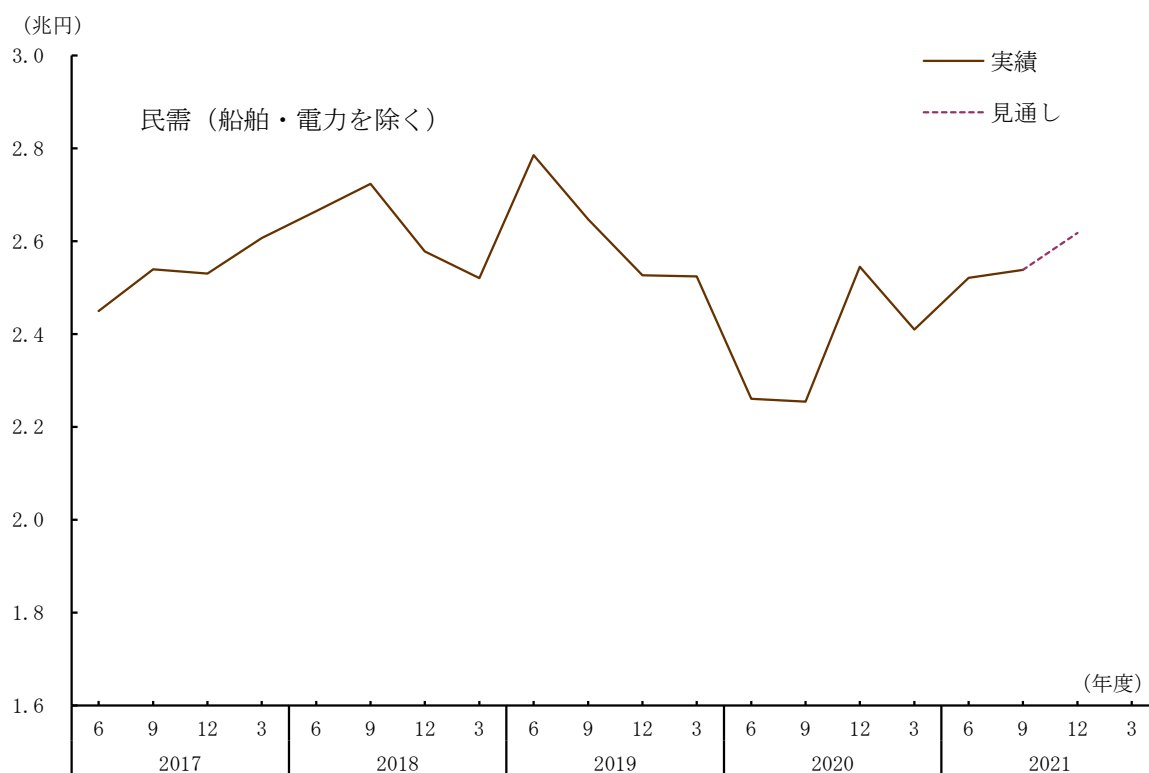
1. 1989（平成元）年4～6月実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
2. 本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。

2021（令和3）年10～12月の機械受注見通し

1. 集計結果の概要

- (1) 2021年10～12月の機械受注見通し額について、調査対象企業の見通しを集計したところ、受注総額で7兆4,789億円、前年同期の実績に対し12.9%の増加、「船舶・電力を除く民需」で2兆6,369億円、同9.3%の増加という結果になった。
- (2) これに最近における「達成率」を乗じると、受注総額で前年同期に対し23.8%増、「船舶・電力を除く民需」で同3.1%増の見通しとなった。
- (3) 季節調整値により、前期（7～9月）の実績に対する比率を見ると、受注総額で9.1%増、「船舶・電力を除く民需」で3.1%増の見通しとなった。

第1図 受注額の実績と見通し（季節調整系列）



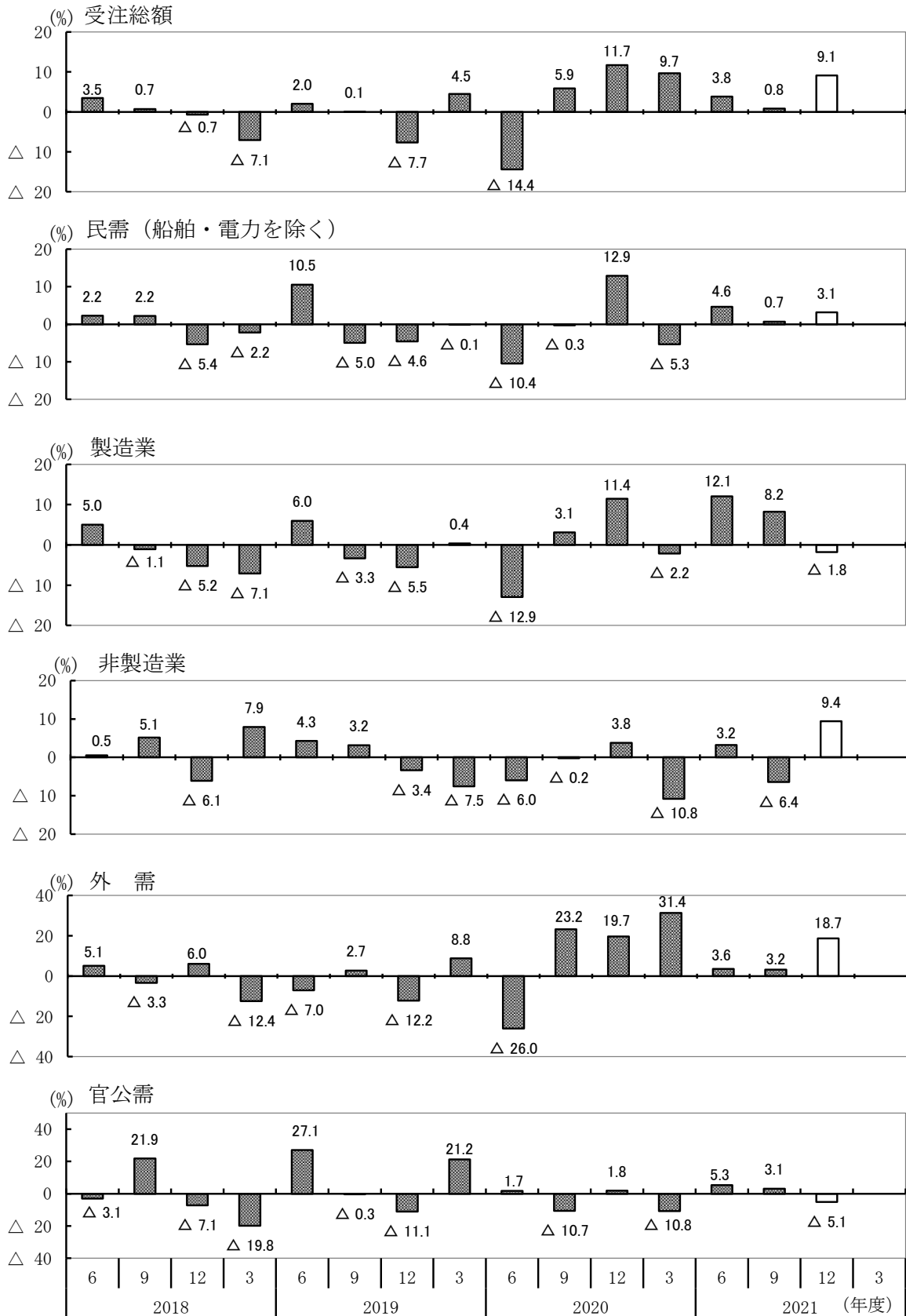
第1表 需要者別見通し額（季節調整系列）

（単位：100万円，％）

需要者		期			
		2021年 (令和3年) 1～3月 実績	4～6月 実績	7～9月 実績	10～12月 見通し
実 数	受注総額	7,550,133	7,836,565	7,899,600	8,619,041
	民需	2,725,783	2,907,264	2,906,828	3,026,225
	（船舶を除く）	（ 2,686,551）	（ 2,904,061）	（ 2,850,237）	（ 2,998,197）
	（船舶・電力を除く）	（ 2,409,531）	（ 2,521,006）	（ 2,537,866）	（ 2,617,603）
	製造業	1,047,204	1,173,630	1,270,036	1,247,171
	非製造業	1,675,007	1,729,084	1,617,736	1,769,719
	（船舶・電力を除く）	（ 1,360,068）	（ 1,335,674）	（ 1,284,757）	（ 1,390,723）
	官公需	741,007	779,915	804,335	763,640
	外需	3,663,708	3,794,256	3,914,343	4,646,864
代理店	326,145	362,542	367,272	343,479	
前 期 比	受注総額	9.7	3.8	0.8	9.1
	民需	△ 7.4	6.7	△ 0.0	4.1
	（船舶を除く）	（ △ 8.7）	（ 8.1）	（ △ 1.9）	（ 5.2）
	（船舶・電力を除く）	（ △ 5.3）	（ 4.6）	（ 0.7）	（ 3.1）
	製造業	△ 2.2	12.1	8.2	△ 1.8
	非製造業	△ 10.8	3.2	△ 6.4	9.4
	（船舶・電力を除く）	（ △ 9.2）	（ △ 1.8）	（ △ 3.8）	（ 8.2）
	官公需	△ 10.8	5.3	3.1	△ 5.1
	外需	31.4	3.6	3.2	18.7
代理店	2.4	11.2	1.3	△ 6.5	

- （注） 1. 見通しの計数は、各部門ごとの単純集計値に過去3期の平均達成率（季節調整値）を乗じて算出している。
 2. 個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値と一致しない。

第2図 需要者別機械受注の動向（季節調整系列、前期比）



（備考）2021年7～9月期以前は実績値。

2. 需要者別見通しについて

(1) 需要者別見通し額（季節調整済系列）

10～12月の機械受注見通し額（季節調整値）を前期比で見ると、受注総額は7～9月0.8%増の後、10～12月には、9.1%増の見通しとなった（第1表）。

これを需要者別にみると、民需は7～9月0.0%減の後、10～12月には製造業（1.8%減）が減少するものの、非製造業（9.4%増）が増加するとみられることから、合計では4.1%増となる見通しになっている。このうち、「船舶・電力を除く民需」は7～9月0.7%増の後、10～12月には3.1%増となる見通しになっている。

機械受注の見通し額（季節調整済系列）は、単純集計値に過去3期の平均達成率（季節調整済）を乗じ、単純集計値の季節指数で除して求めている（「達成率」については後述）。

参考表 需要者別見通し額(季節調整値)の算出

	単純集計値	3期平均 達成率	原数値	季節指数	季節調整値
受注総額	7,478,931	109.7	8,202,418	95.2	8,619,041
民需	3,015,403	93.9	2,832,145	93.6	3,026,225
(船舶を除く)	2,988,139	93.7	2,798,676	93.3	2,998,197
(船舶・電力を除く)	2,636,945	94.3	2,487,228	95.0	2,617,603
製造業	1,225,673	98.8	1,211,443	97.1	1,247,171
非製造業	1,789,730	90.3	1,616,416	91.3	1,769,719
(船舶・電力を除く)	1,417,524	90.6	1,283,952	92.3	1,390,723
官公需	664,452	104.2	692,042	90.6	763,640
外需	3,458,933	128.8	4,455,979	95.9	4,646,864
代理店	340,143	104.4	354,957	103.3	343,479

(2) 需要者別見通し額（原系列）

10～12月の機械受注見通し額について、単純集計値をみると、受注総額は7兆4,789億円であり、前年同期の実績に比べ、12.9%増となった（第2表）。

平均達成率調整後の見通し（原系列）をみると、受注総額では、10～12月には前年同期比23.8%増となる見通しになっている。需要者別にみると、民需は、非製造業（6.2%減）が減少するものの、製造業（16.9%増）が増加するとみられることから、2.6%増となる見通しになっている。このうち、「船舶・電力を除く民需」は3.1%増となる見通しになっている。

第2表 需要者別見通し額（原系列）

（単位：100万円，%）

需要者		期	2021年	7～9月	10～12月	(参考)
			(令和3年)			
			4～6月			
			実績	実績	見通し	単純集計値
実数	受注総額		7,047,065	7,628,144	8,202,418	7,478,931
	民需		2,702,480	2,825,991	2,832,145	3,015,403
	(船舶を除く)	(2,684,633)	(2,817,170)	(2,798,676)	(2,988,139)
	(船舶・電力を除く)	(2,423,651)	(2,530,749)	(2,487,228)	(2,636,945)
	製造業		1,146,329	1,245,708	1,211,443	1,225,673
	非製造業		1,556,151	1,580,283	1,616,416	1,789,730
	(船舶・電力を除く)	(1,280,987)	(1,290,799)	(1,283,952)	(1,417,524)
前年同期比	官公需		678,006	738,049	692,042	664,452
	外需		3,324,262	3,698,061	4,455,979	3,458,933
	代理店		342,317	366,043	354,957	340,143
前年同期比	受注総額		34.0	26.0	23.8	12.9
	民需		7.2	4.3	2.6	9.2
	(船舶を除く)	(7.4)	(6.4)	(2.4)	(9.4)
	(船舶・電力を除く)	(12.6)	(13.3)	(3.1)	(9.3)
	製造業		26.5	33.7	16.9	18.2
	非製造業		△ 3.7	△ 11.1	△ 6.2	3.8
	(船舶・電力を除く)	(2.2)	(△ 1.2)	(△ 7.0)	(2.7)
前年同期比	官公需		△ 12.9	△ 7.3	△ 2.3	△ 6.2
	外需		98.7	64.8	57.8	22.5
	代理店		19.5	19.8	6.4	1.9

(注) 見通しの計数は、各部門ごとの単純集計値に過去3期の平均達成率（季節調整値）を乗じて算出している。従って、各部門の合計値は受注額合計値と一致しない。

(3) 需要者別達成率の動向

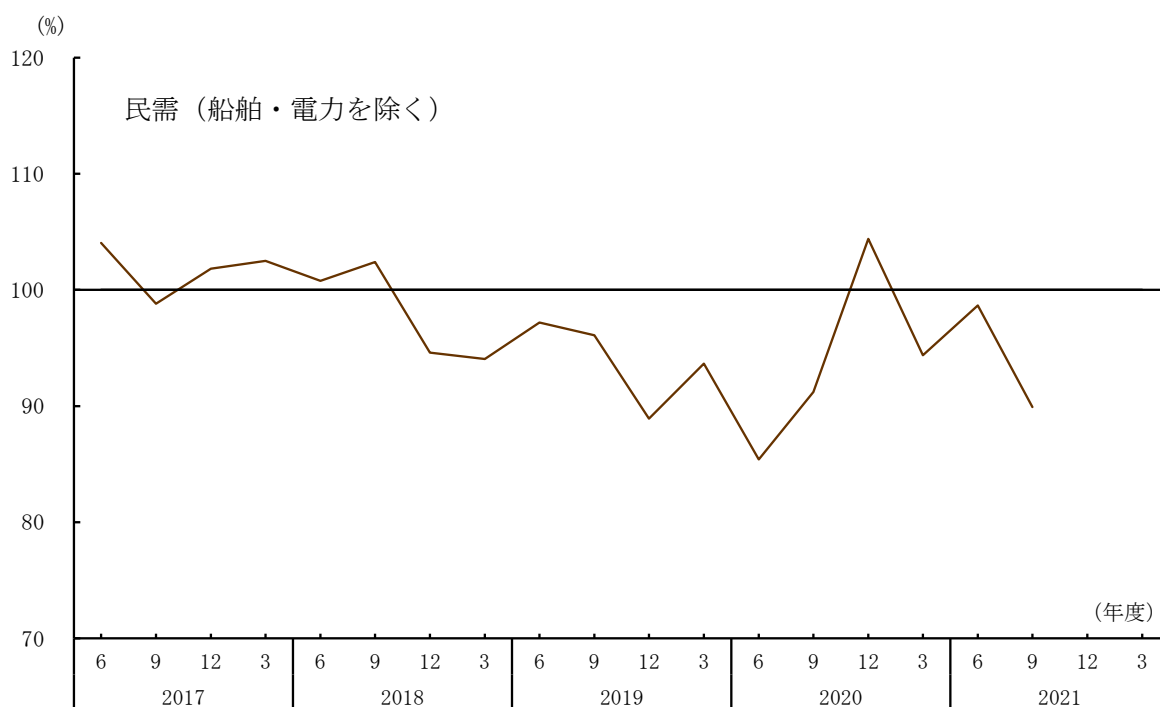
機械受注額の「見通し(単純集計値)」に対する「実績」の乖離を調整するために、両者の比を「達成率」として計算し、直近の3期平均達成率を見通しの「単純集計値」に乗じている。

最近における達成率(季節調整済)の動向は、第3図及び第3表のとおりである。

7～9月の機械受注見通し達成率をみると、受注総額では107.9%と100%を上回り、4～6月の達成率と比べ1.5ポイント低下した(第3表)。

民需(94.4%)は同0.2ポイント上昇、「船舶・電力を除く民需」(89.9%)は同8.8ポイント低下した。製造業(101.9%)は同3.4ポイント上昇、「非製造業(船舶・電力を除く)」(82.2%)は同13.1ポイント低下した。

第3図 達成率 (季節調整系列)



(備考) 達成率(季節調整値)は、(実績(季節調整値)/見通し(単純集計値、季節調整値))で算出している。

第3表 需要者別達成率 (季節調整系列)

(単位：%)

需要者	期	2020年 (令和2年) 10~12月	2021年 (令和3年) 1~3月	4~6月	7~9月	3期平均
受注総額		112.6	111.7	109.4	107.9	109.7
民需		102.8	93.1	94.2	94.4	93.9
(船舶を除く)		(103.4)	(92.6)	(95.4)	(92.9)	(93.7)
(船舶・電力を除く)		(104.4)	(94.4)	(98.7)	(89.9)	(94.3)
製造業		97.5	96.2	98.5	101.9	98.8
非製造業		106.3	91.2	91.6	88.1	90.3
(船舶・電力を除く)		(110.3)	(94.2)	(95.3)	(82.2)	(90.6)
官公需		119.5	89.2	113.0	110.3	104.2
外需		122.6	139.4	123.0	124.1	128.8
代理店		100.7	94.7	113.1	105.3	104.4

3期平均は2021年1~3月から7~9月までの3期の単純平均。

3. 機種別見通しについて

(1) 機種別見通し額

10～12月の受注見通し（原系列）を機種別に前年同期比で見ると、船舶（71.9%増）、工作機械（63.5%増）、産業機械（40.7%増）、電子・通信機械（21.0%増）、道路車両（15.4%増）、重電機（4.4%増）及び原動機（0.9%増）で増加する見通しになっている。

反面、航空機（49.1%減）及び鉄道車両（22.4%減）で減少する見通しになっている（第4表）。

第4表 機種別見通し額（原系列）

（単位：100万円，%）

機 種		期	2021年	7～9月	10～12月	(参考)
			(令和3年)			
			4～6月			
			実績			
実 数	原 動 機		470,939	461,945	477,138	514,645
	重 電 機		461,625	561,618	474,146	517,738
	電子・通信機械		2,606,004	2,892,461	2,890,243	2,658,636
	産 業 機 械		2,356,046	2,401,360	2,855,781	2,367,079
	工 作 機 械		285,781	303,759	330,518	276,205
	鉄 道 車 両		80,374	94,902	122,281	180,731
	道 路 車 両		334,139	360,211	379,736	390,575
	航 空 機		92,334	204,560	170,419	178,135
	船 舶		359,823	347,328	441,333	395,187
	合 計		7,047,065	7,628,144	8,053,296	7,478,931
前 年 同 期 比	原 動 機		3.4	△ 9.4	0.9	8.8
	重 電 機		22.2	21.5	4.4	13.9
	電子・通信機械		19.1	42.5	21.0	11.3
	産 業 機 械		53.3	18.3	40.7	16.6
	工 作 機 械		111.6	79.0	63.5	36.6
	鉄 道 車 両		△ 35.3	△ 22.6	△ 22.4	14.8
	道 路 車 両		47.8	19.7	15.4	18.7
	航 空 機		△ 26.8	△ 21.5	△ 49.1	△ 46.8
	船 舶		296.7	106.1	71.9	53.9
	合 計		34.0	26.0	21.5	12.9

(注) 見通しの計数は、各機種ごとの単純集計値に過去3期の平均達成率を乗じて算出している。従って、各機種の合計値は受注額合計値と一致しない。

(2) 機種別達成率の動向

7～9月の機種別達成率をみると、電子・通信機械（120.2%）が前期と比べ18.5ポイント、重電機（100.2%）が同6.3ポイント上昇した。

反面、鉄道車両（39.0%）が同34.6ポイント、船舶（105.8%）が同18.0ポイント、航空機（78.7%）が同13.7ポイント、産業機械（102.7%）が同12.0ポイント、工作機械（120.4%）が同8.7ポイント、原動機（89.3%）が同7.7ポイント、道路車両（100.3%）が同0.8ポイント低下した（第5表）。

第5表 機種別達成率

(単位：%)

	2020年 (令和2年) 7～9月	10～12月	2021年 (令和3年) 1～3月	4～6月	7～9月
原 動 機	124.6	97.1	91.9	97.0	89.3
重 電 機	93.4	92.9	80.7	93.9	100.2
電子・通信機械	100.6	121.1	104.3	101.7	120.2
産 業 機 械	103.3	112.3	144.5	114.7	102.7
工 作 機 械	99.4	107.5	109.5	129.1	120.4
鉄 道 車 両	61.4	108.7	90.3	73.6	39.0
道 路 車 両	130.6	101.8	90.3	101.1	100.3
航 空 機	78.3	209.6	115.9	92.4	78.7
船 舶	56.7	106.1	105.4	123.8	105.8
合 計	99.0	114.0	112.0	106.0	105.0

(注) 達成率は（実績（原数値）／見通し（単純集計値））で算出している。

第6表 機械受注見通し調査（2021年9月調査）
2021年10～12月受注見通し額集計結果表

（単位：100万円）

機種別 需要者別	原 動 機	重 電 機	電子・通信機械	産 業 機 械	工 作 機 械	
受 注 総 額	514,645	517,738	2,658,636	2,367,079	276,205	受 計
民 需	298,839	274,997	1,203,060	940,548	115,929	民 計
製 造 業	123,219	77,875	388,544	497,248	113,272	製 計
非 製 造 業	175,620	197,122	814,516	443,300	2,657	非 計
内 電 力 業	126,152	136,656	37,351	50,983	51	電 力
官 公 需	50,354	64,040	240,775	147,158	122	官 計
外 需	165,452	95,489	1,196,802	1,163,448	154,654	海 外
代 理 店	0	83,212	17,999	115,925	5,500	代 理 店

機種別 需要者別	鉄 道 車 両	道 路 車 両	航 空 機	船 舶	合 計	
受 注 総 額	180,731	390,575	178,135	395,187	7,478,931	受 計
民 需	71,275	68,195	15,296	27,264	3,015,403	民 計
製 造 業	6,420	784	12,059	6,252	1,225,673	製 計
非 製 造 業	64,855	67,411	3,237	21,012	1,789,730	非 計
内 電 力 業	1	0	0	0	351,194	電 力
官 公 需	5,815	4,171	87,568	64,449	664,452	官 計
外 需	103,379	200,964	75,271	303,474	3,458,933	海 外
代 理 店	262	117,245	0	0	340,143	代 理 店